

この度、第 114 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

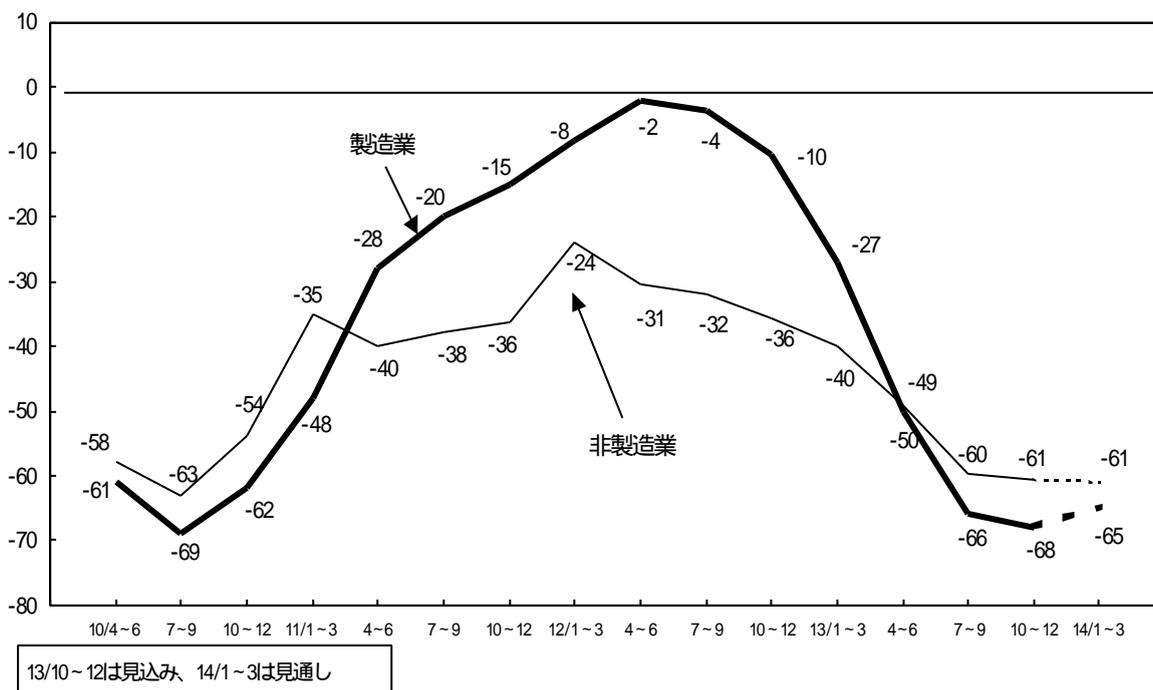
企業の業況感は、米国テロや狂牛病などの影響もあって、前期（13 年 7～9 月期）は一段と悪化したものの、今期（13 年 10～12 月期）および、来期（14 年 1～3 月期）は横ばいの見通しとなっている。

しかし、実体経済を見ると、製造業は、依然として生産活動が低迷しており、また、非製造業も、生産減やリストラの影響で、雇用・所得環境が悪化しているため、先行きも低調に推移することが予想される。

今期（13 年 10～12 月期）の業況判断 D.I. 値は、製造業が 68、非製造業が 61 となった。前期（13 年 7～9 月期）に比べ、製造業が 2 ポイント、非製造業が 1 ポイント悪化と、低調に推移する見通しである。

来期（14 年 1～3 月期）は、製造業が 65 と今期に比べ 3 ポイント改善し、非製造業は 61 と同水準で推移する見通しである。

業況判断 D.I. 値



2. 概要

(1) 製造業

今期実績見込み(13年10~12月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 68.....前期(13年7~9月期)実績を2ポイント下回った
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 60.....前期実績を4ポイント下回った
(水準D.I.値) 23.....前期実績を5ポイント上回った
- ・設備投資(実施企業割合) 65%.....前期実績を2ポイント下回った
(投資額D.I.値) 9.....前期実績を2ポイント下回った
- ・雇用(増減D.I.値) 36.....前期実績を1ポイント上回った
(適正水準D.I.値) 35.....前期実績を5ポイント下回った
- ・経営上の問題「需要減退」次いで、「競争激化」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(14年1~3月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 65.....今期(13年10~12月期)見込みを3ポイント上回る
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 55.....今期見込みを5ポイント上回る
(水準D.I.値) 24.....今期見込みを1ポイント下回る
- ・設備投資(実施予定企業割合) 65%.....今期見込みと同ポイントとなる
(投資額D.I.値) 11.....今期見込みを2ポイント下回る
- ・雇用(増減D.I.値) 35.....今期見込みを1ポイント上回る
(適正水準D.I.値) 34.....今期見込みを1ポイント下回る

(2) 非製造業

今期実績見込み(13年10~12月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 61.....前期実績を1ポイント下回った
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 47.....前期実績を6ポイント下回った
(水準D.I.値) 12.....前期実績を1ポイント上回った
- ・設備投資(実施企業割合) 48%.....前期実績を3ポイント下回った
(投資額D.I.値) 19.....前期実績を2ポイント下回った
- ・雇用(増減D.I.値) 29.....前期実績を1ポイント上回った
(適正水準D.I.値) 6.....前期実績を4ポイント下回った
- ・経営上の問題「需要減退」次いで、「競争激化」、製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(14年1~3月期)

- ・業況(業況判断D.I.値) 61.....今期見込みと同ポイントとなる
- ・経常利益(前年比増減D.I.値) 43.....今期見込みを4ポイント上回る
(水準D.I.値) 16.....今期見込みを4ポイント下回る
- ・設備投資(実施予定企業割合) 39%.....今期見込みを9ポイント下回る
(投資額D.I.値) 10.....今期見込みを9ポイント下回る
- ・雇用(増減D.I.値) 31.....今期見込みを2ポイント下回る
(適正水準D.I.値) 6.....今期見込みと同ポイントとなる